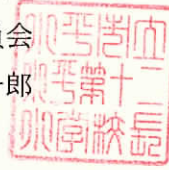


令和2年3月31日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立小平第十二小学校給食運営委員会

委員長 岩井純一郎



令和元年度 小平市立小平第十二小学校給食運営委員会（第2回）について

このことについて下記の通り報告します。

記

日時：令和元年12月10日（火） 午後0時40分から午後1時20分まで

会場：小平第十二小学校 ランチルーム

出席者： 10名

傍聴者： 0名

会議の概要

1 運営委員長挨拶

2 委員紹介

3 会食

4 協議

（学務課長） 小学校10校が調理業務委託をしており、本会議は委託校で開催している。

保護者、学校職員、委託事業者、市教委が一同に会し、よい給食を提供することを目的としている。そのために、ご意見をいただきたい。年2回の開催である。試食を通して味の確認、調理の工夫など見ていただき、感想や質問を頂ければと思う。家庭での様子などもお聞かせいただき、よりよいものにしていきたい。

（食育リーダー） 一クラスに38人、つくづく個人差が大きいと感じる。献立の人気、嗜好の差、食べる量の差がある。校内では、給食に興味をもってもらえるような取り組みとして、クラスごとに献立のリクエストをとっている。ステーキ、揚げパン、かぶのあえもの、生姜焼きなど、様々な献立が出てくる。なるべく意見を反映できるようにしている。

（栄養士） 常に旬の食材、地場野菜を多く使うような献立を心掛けている。3学期には各クラスからのリクエスト献立の実施を予定している。

（受託業者） インフルエンザ、ノロウィルスの流行時期でもあるので、感染に十分注意している。牡蠣などの2枚貝の生食を禁止し、症状がなくとも、健康保菌者であるかもしれないということを意識し、衛生管理を徹底している。手洗いを励行し、菌を給食室内に持ち込まないよう取り組んでいる。給食の提供については、温かいものは温かく提供できるように工夫している。

（保護者） 姉妹で給食のおかわりを楽しみにしている。家庭でもよくおかわりの話ができる。毎朝献立表を見てから登校している。昔の給食について調べてくる課題があったが、祖母に教えてもらい、給食が家族のコミュニケーションツールにもなっている。

（保護者） 家庭では偏食があるが、学校では残さず食べていると聞き、驚いている。麻婆豆腐がおいしかった、牛乳も瓶だと飲める、おかわりした など話している。

5 質疑
なし。

以上